

# DHLサプライチェーンのご紹介

May 2014



# はじめに

DHLサプライチェーンは、世界トップシェアの3PL(サード・パーティ・ロジスティクス)プロバイダーです。日本においても40年以上の歴史を持ち、ハイテク・機械メーカー、消費財、ヘルスケア分野向け3PLを中心に、事業展開しています。特に2004年には富士通様の物流子会社、2013年はコニカミノルタ様の物流子会社のお引き受けし統合を目指すといった、3PLの中でも最も難易度の高い分野で実績を積んで参りました。今回は3つの特徴に絞って、ご紹介をさせていただきます。

## 1. サービス・ロジスティクス(緊急保守部品出荷等の高付加価値物流サービス)のプラットフォーム

完成品物流も然ることながら、DHLサプライチェーンが他の追随を許さないサービスは、ハイテク・機械・医療機器メーカー向けのサービス・ロジスティクスです。とりわけ要求水準の高い、グローバルトップクラスのコンピューターメーカーや通信機器メーカーの多くを顧客に持ち、全国緊急保守部品出荷や付随するテクニカルサービスを独自のWMSをベースとして提供しております。

つまり、既にプラットフォームが構築されているため、新しいお客様にとってもコストメリットと高品質サービスの両面をご期待いただけます。

また、修理・スクリーニングなどのテクニカルサービスとのワンストップ、他国と一貫したSPLの提供、継続的な改善・コンサルティング等によりご支持いただいております。

## 2. LLP(リード・ロジスティクス・プロバイダー)によるサプライチェーンの全体最適

所謂、物流の総元請となって、自社または他物流企業による複数のオペレーションを管理していくサービスです。

オペレーションの安定遂行だけでなく、その内容(金額・契約形態・品質・生産性等)を徹底的に可視化して提示すること、またサプライチェーンの設計に踏み込み、大きな価値をご提供します。

私たちは10年以上前から、世界各国でLLPの実績を持ち、専門部隊を有しています。日本でも昨年度コニカミノルタ様からLLP契約を受注いたしました。

企業の全部門の物流をお受けする究極系もあれば、より小スケールでLLPの考え方を適用することも可能です。

## 3. 相模原ロジスティクスセンターを活用したサプライチェーン再構築

延床面積約4.4万㎡規模のDHLサプライチェーンとしては日本で初めてのBTS(Build-to-Suit)型倉庫を相模原に開設いたしました。湾岸地区に比べるとコストメリットが大きく、一方で空港や港湾施設からのアクセスや、大規模商圏である首都圏・そして西日本方面への配送に利便性の高い立地です。

DHLサプライチェーンによる高品質3PLオペレーションと組み合わせて、コストダウンとサービス向上の両立するようなサプライチェーンの再構築を検討されているお客様には最適です。

# DHL サプライチェーンのサービス・ロジスティクス

DHL サプライチェーンは、グローバルでトップシェアの3PL企業です。

中でも、サービス・ロジスティクス\*は最も得意とする分野であり、以下の点で業界最高の価値をご提供いたします。

\*シンプルな完成品の出荷物流ではなく、保守サービスのためのサービス・パーツロジスティクス(SPL)、故障品の回収・修理オペレーション、デモ機の貸出関連、また完成品の出荷に際してコンフィグレーションの実施などの付加価値の高い物流関連サービス

## ■ 業界最高水準のクオリティー

- 特にサービス・ロジスティクスの品質要求水準の厳しい、大手コンピューターメーカーや通信機器メーカー等との国内外での豊富な経験を有しております

## ■ コスト競争力

- 上記実績の結果、既にプラットフォームが構築されているため、新規にご利用されるお客様においてはコストメリットを享受できます

## ■ グローバル対応力

- 各国のDHL サプライチェーンと密に連携し、複数国での一貫したオペレーションを展開します

## ■ 継続的な改善とコンサルティング

- 担当マネージャーが年間／契約期間内での改善ロードマップを策定し、計画的に実行します
- 専門の業務デザインチーム、輸送分析チームを有し、国内の実績とグローバルでの知見を総合して常にイノベーションを目指します

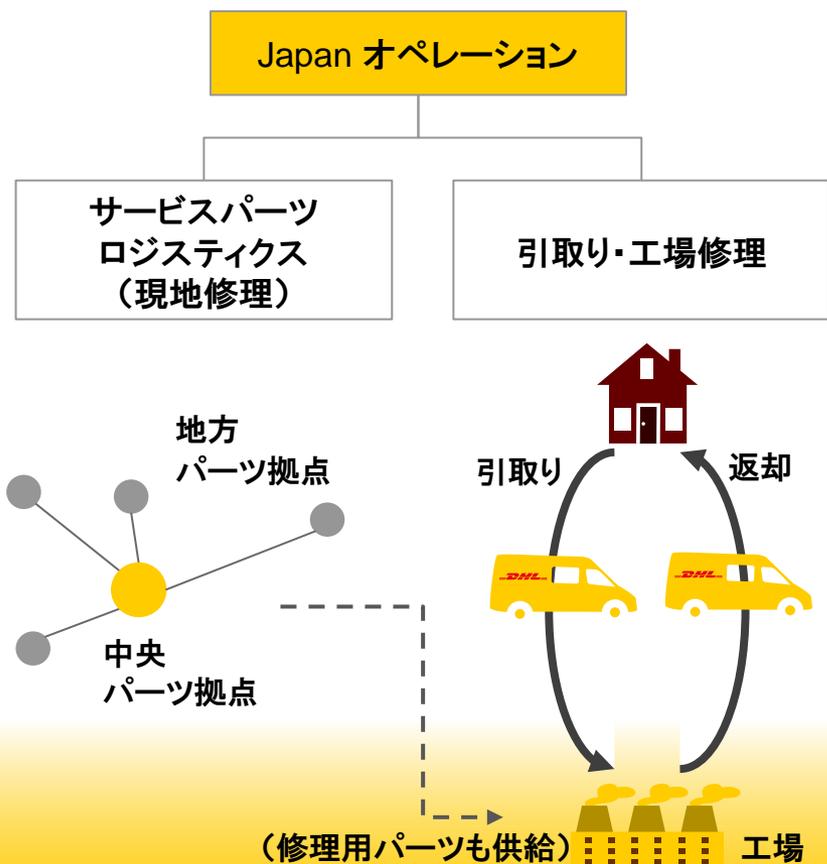
## ■ 付加価値サービスと合わせたワンストップ・オペレーション(以下、事例)

- サービスパーツの保管・配送 + パーツのスクリーニング
- 機器の引き取り修理オペレーションにて引き取り・返却の配送 + 機器のリペア
- デモ機器の保管・貸出・回収の配送 + 貸出前後の性能検査やSWインストール
- LEDの設置オペレーションにて、LEDの保管・配送 + 電気工事とその事前調査

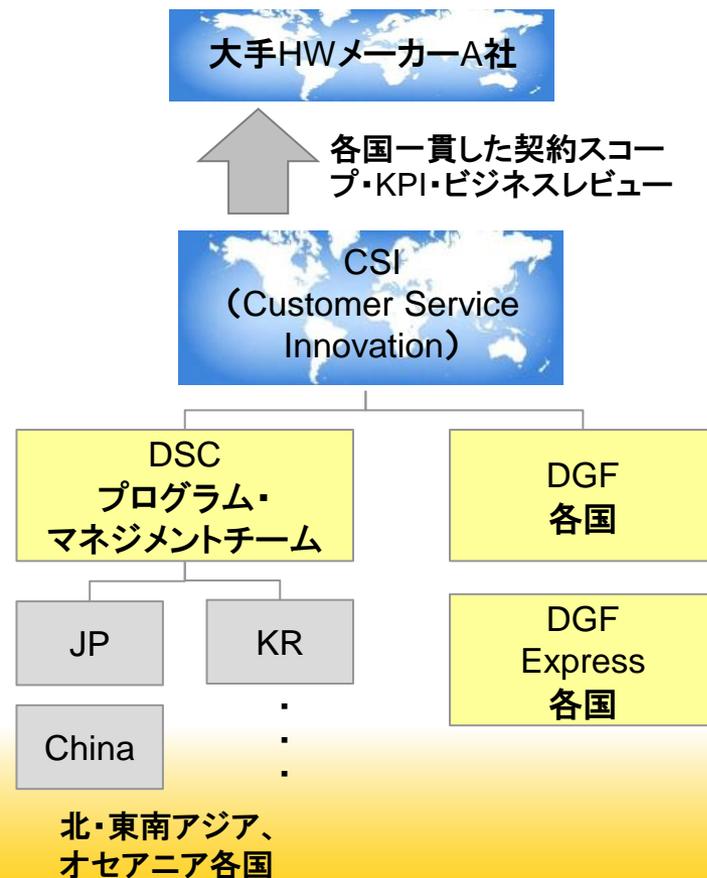
# グローバル一貫体制の事例

複数のオペレーションに分解されるサービス系のロジスティクス包括的に管理  
グローバルにて一貫したアカウントマネジメント体制も構築

複数オペレーションを包括的に管理



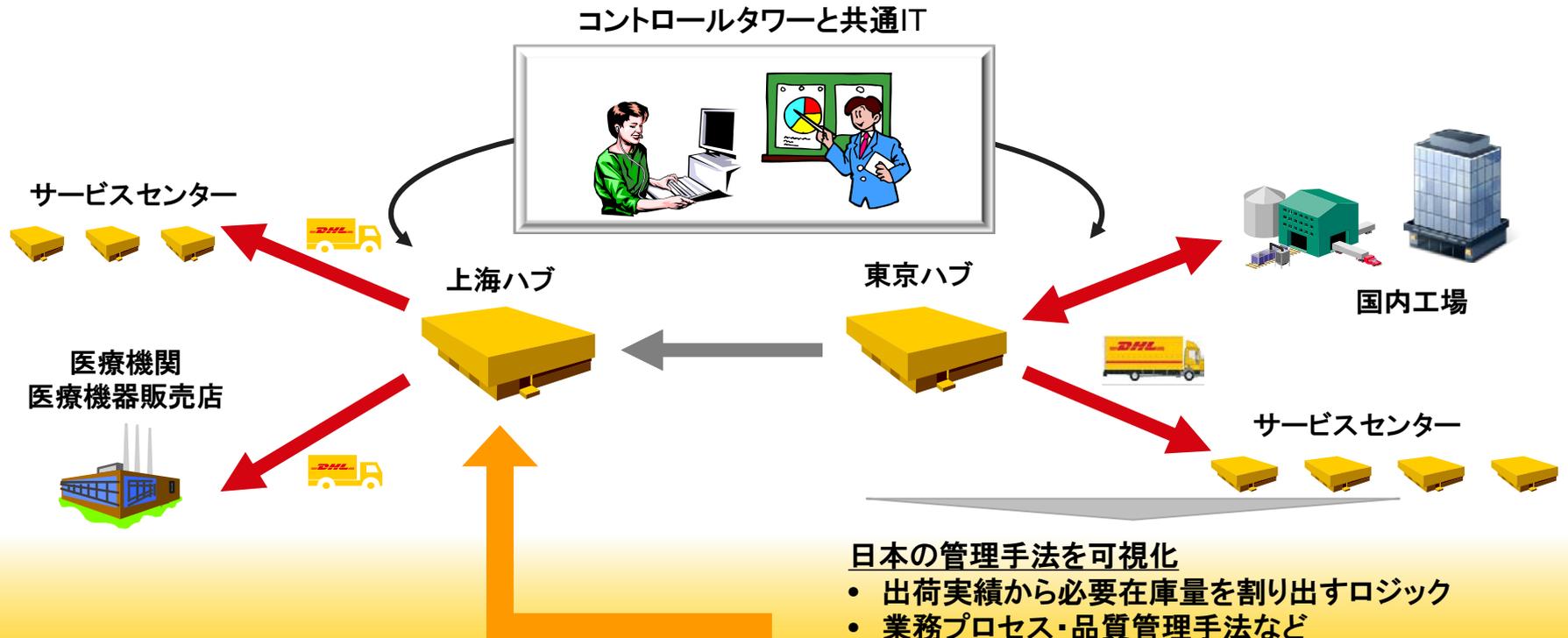
グローバルなアカウントマネジメント体制



# 日中クロスボーダーSPLの事例

日本企業においても、国内での洗練された物流ノウハウを改めて可視化し、そのモデルを統一された管理手法でグローバル展開することが求められる

国内医療機器メーカーのサービス・パーツ・ロジスティクス  
 進んでいた日本のノウハウを可視化し、中国側に横展開  
 コントロールタワーの設置と、統一されたITシステムにより、一元管理オペレーションを確立

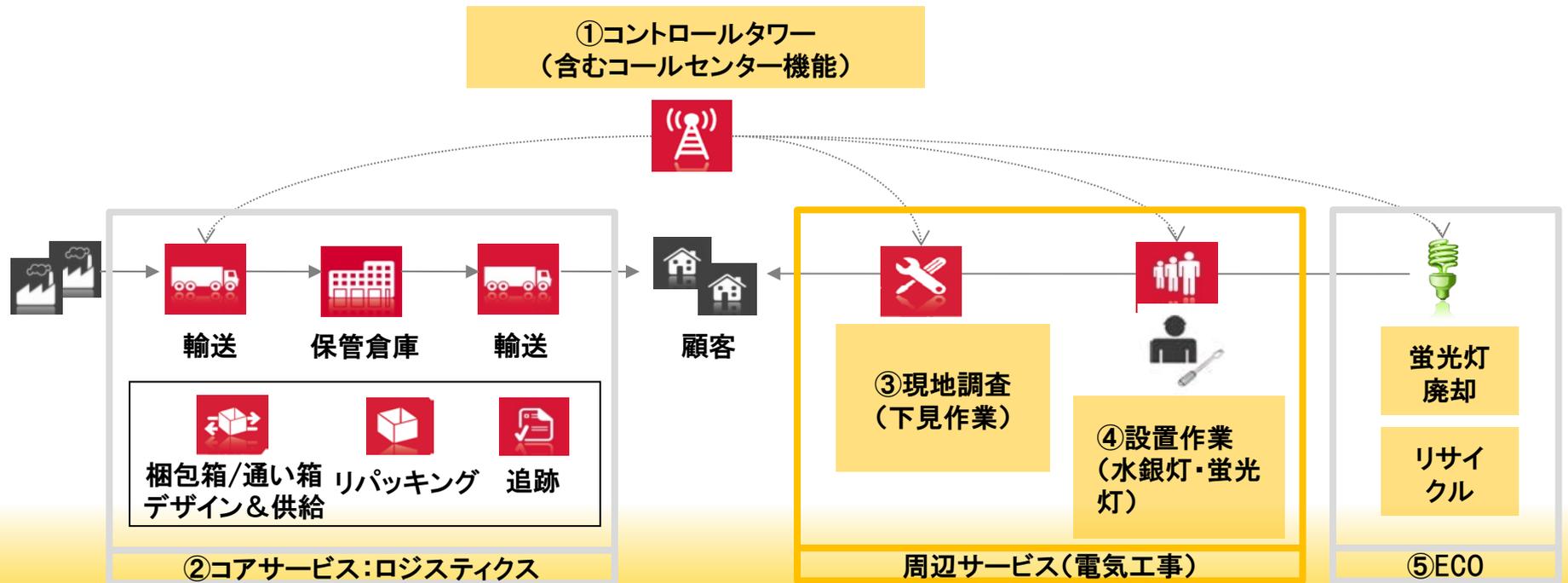


# 付加価値サービスとのワンストップサービス

LEDを店舗などに大量に取り付けするLEDメーカーのオペレーションにおいては、DSCはLEDの保管・配送だけでなく、電気工事とその現地調査、旧蛍光灯の廃棄、アフターサービスなどを含む、ワンストップオペレーションを提供している

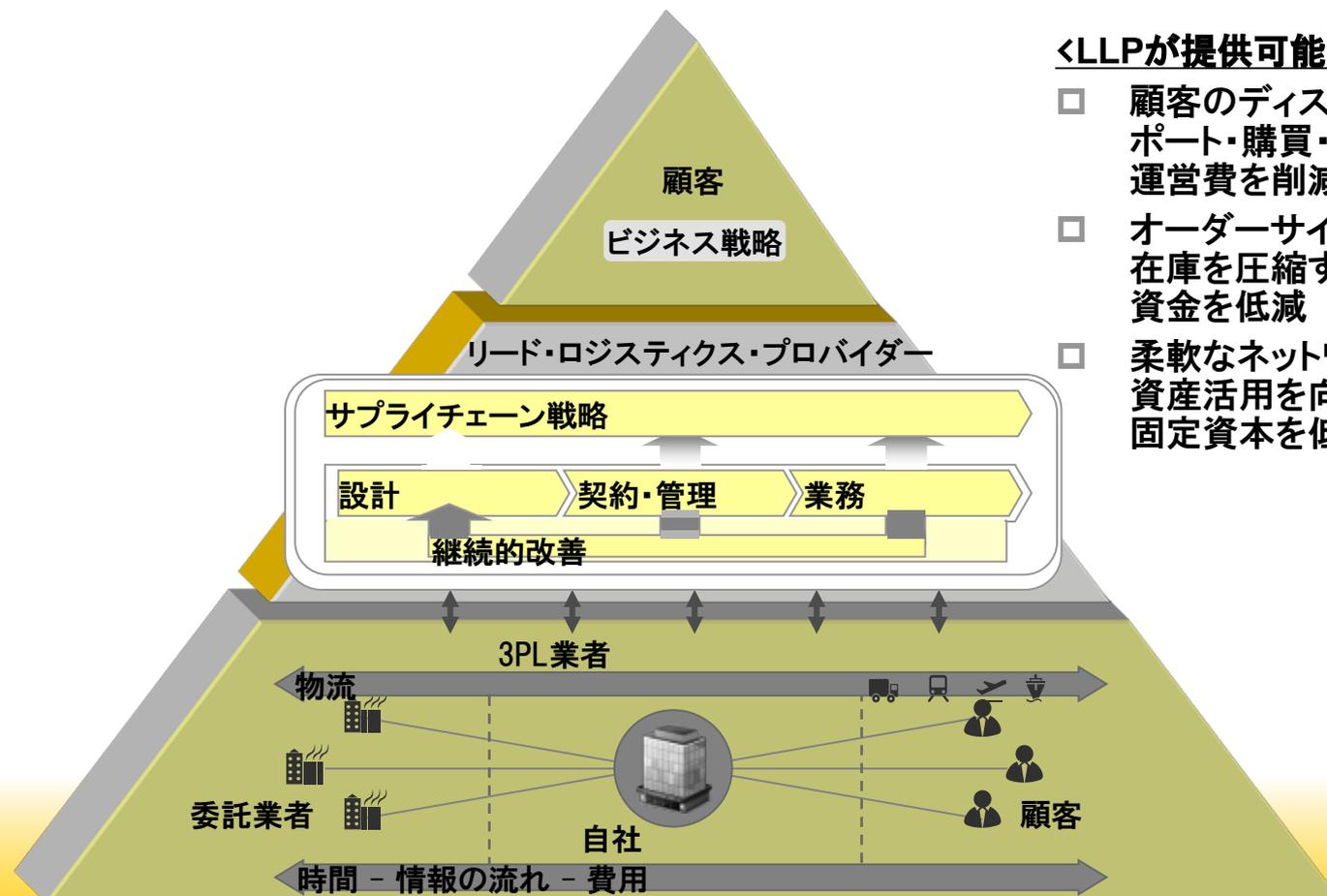


## LED Logistics Platform



# LLP(リード・ロジスティクス・プロバイダー)とは

LLPとは、サービスレベルの向上と物流総コストの削減を実現すべく、単一のパートナーにサプライチェーンの主要な機能と、その設計や戦略策定を任せることを指します。



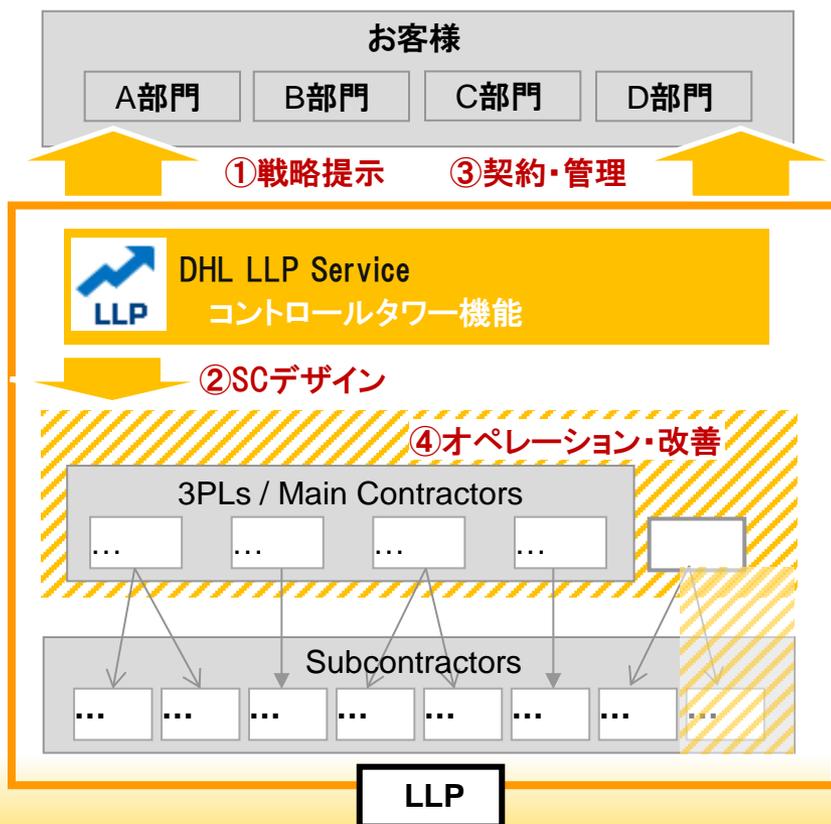
## 〈LLPが提供可能な付加価値の例〉

- 顧客のディストリビューション・トランスポート・購買・調達・人材配置にかかる運営費を削減
- オーダーサイクルを短縮、結果として在庫を圧縮することで、顧客の運営資金を低減
- 柔軟なネットワークを実現し、顧客の資産活用を向上することで、顧客の固定資本を低減

# LLP(リード・ロジスティクス・プロバイダー)とは

顧客にどのような価値を提供するか、それを契約・KPI・ロードマップ等で明示(可視化)することを重視

## LLPオペレーションモデル



## LLPの提供価値

### ① 先を見据えたサプライチェーン戦略の提示

- グローバルな事業展開をサポート

### ② コスト競争力・付加価値の高いSCのデザイン

- 輸出入と国内保管・配送をワンストップ
- 物流周辺の付加価値業務との垂直統合
- LLPの持つ業界別プラットフォームの活用
- 複数BU間の業務を標準化

### ③ 管理と契約によるガバナンス強化

- ゲインシェアスキームによる成果のコミット
- 下記の可視化内容を経営に伝え、LLPとしてもKPIやロードマップとしてコミットする

### ④ 高品質オペレーションとその継続的改善

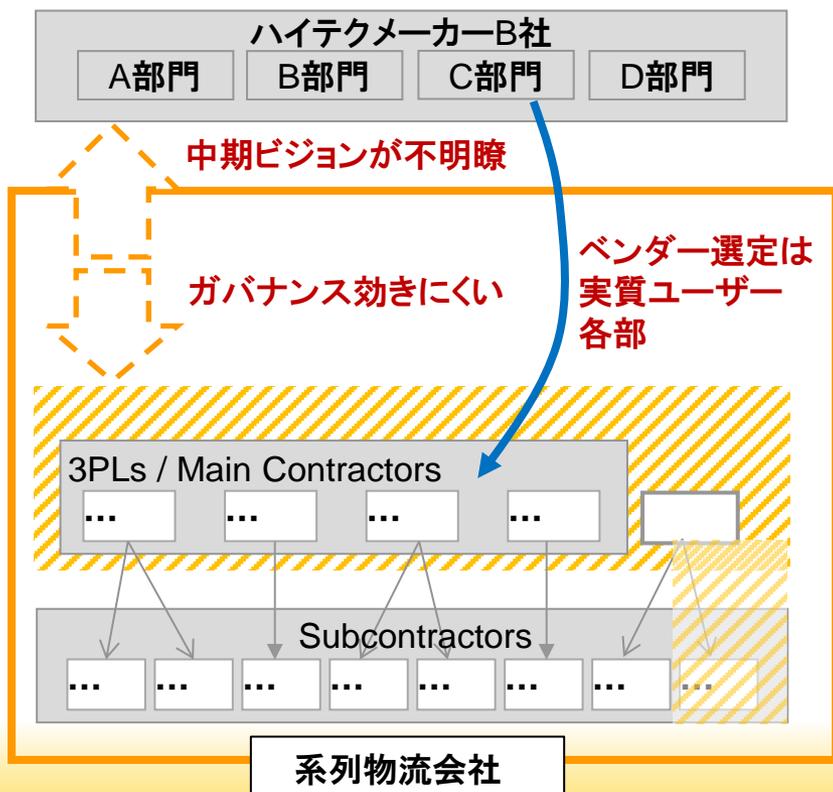
- 金額・契約内容・生産性・品質・ベンダー構造などを可視化し、改善の打ち手を遂行

# 事例1: 国内大手メーカーからの系列物流会社の引き受け

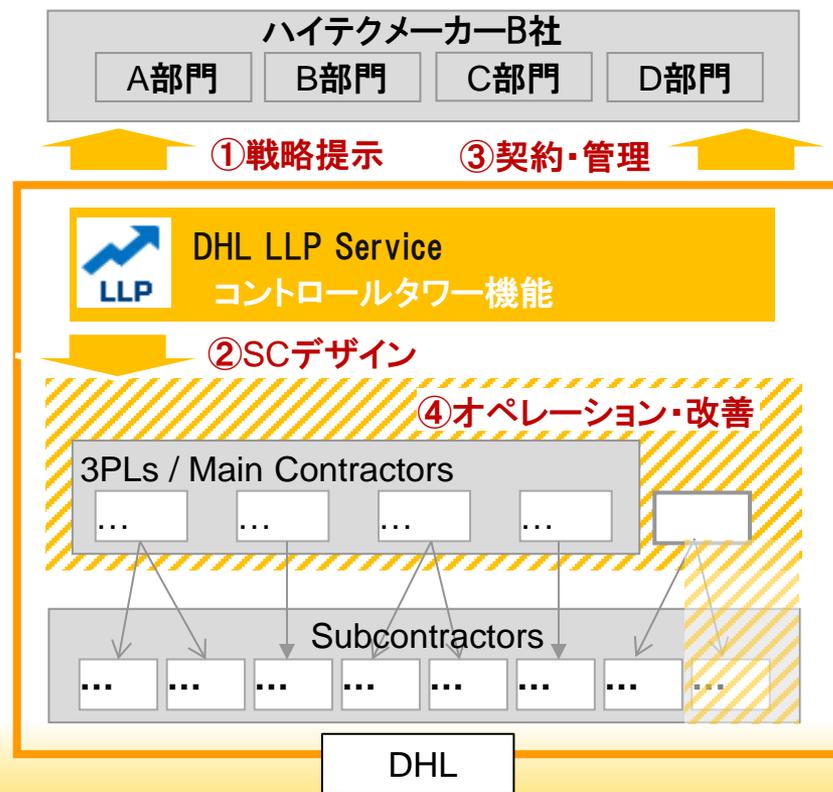
複数部門の国内物流・輸出入をLLPとして包括的にカバー

LLPとしての中期的な取り組み内容やそのコスト削減効果をコミットメントとして提示

過去の系列物流会社の実態

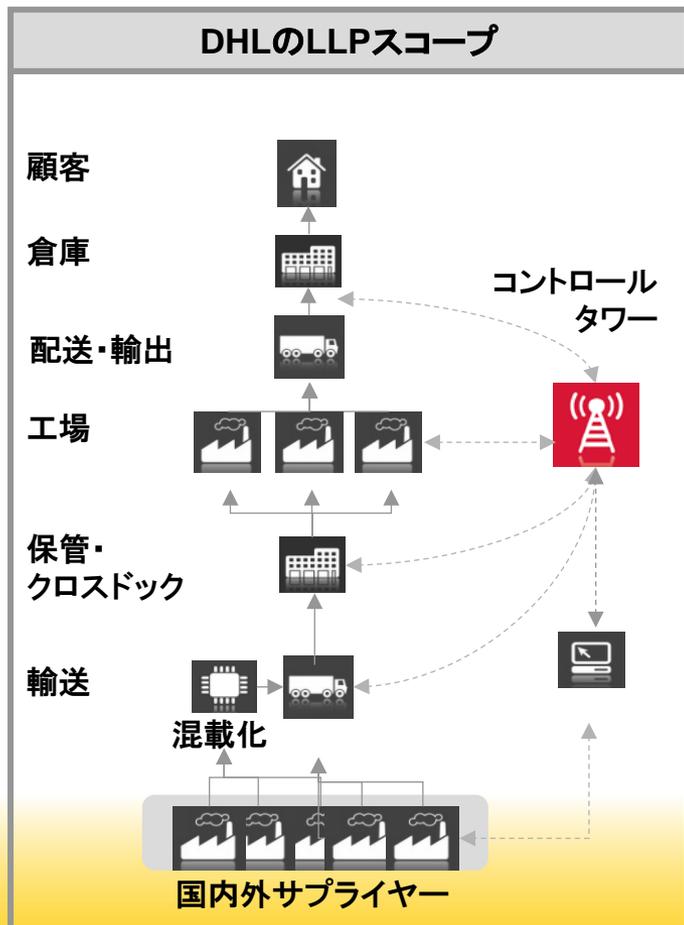


現在のDSCのLLPスキーム



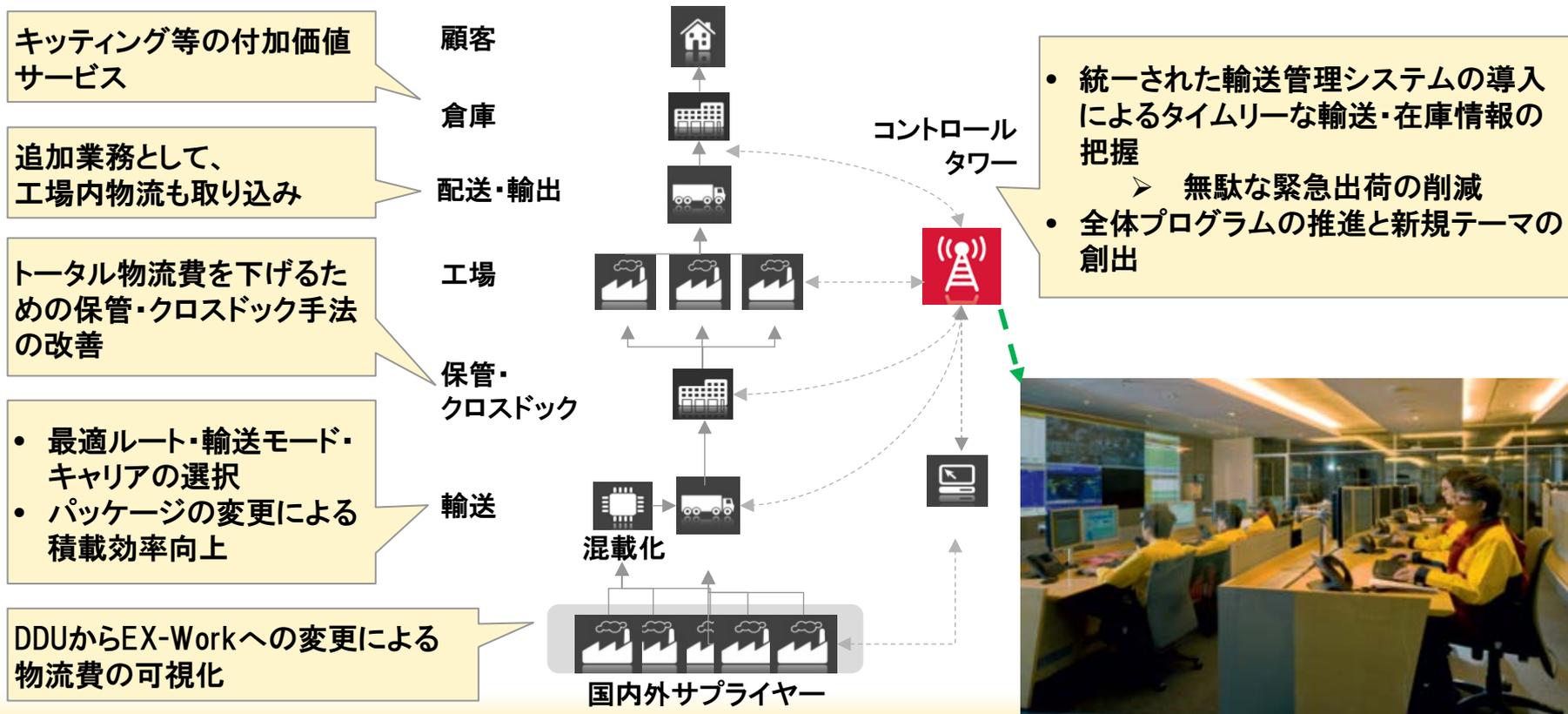
## 事例2: グローバル4地域での部品調達～製造出荷のLLP①

世界各国で、国内外サプライヤーから工場までの物流を中心に、日々の運行管理だけでなく、様々な合理化プログラムを推進している



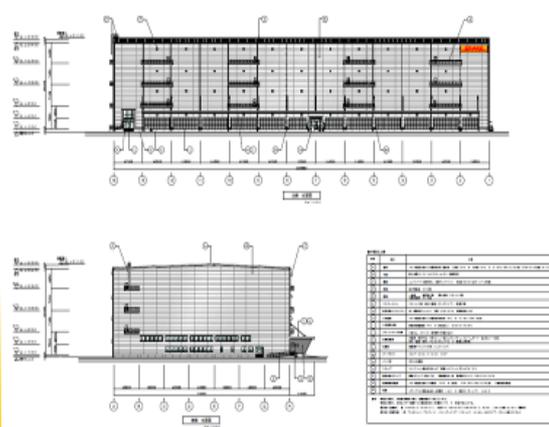
## 事例2: グローバル4地域での部品調達～製造出荷のLLP②

既存サプライチェーンの合理化に加えて、DDUからEX-Workへの移行(=物流費を部品代から切り離し見える化)を推進。また統一された輸送管理システムの導入が、可視化の推進とコスト削減において大きな役割を果たした。

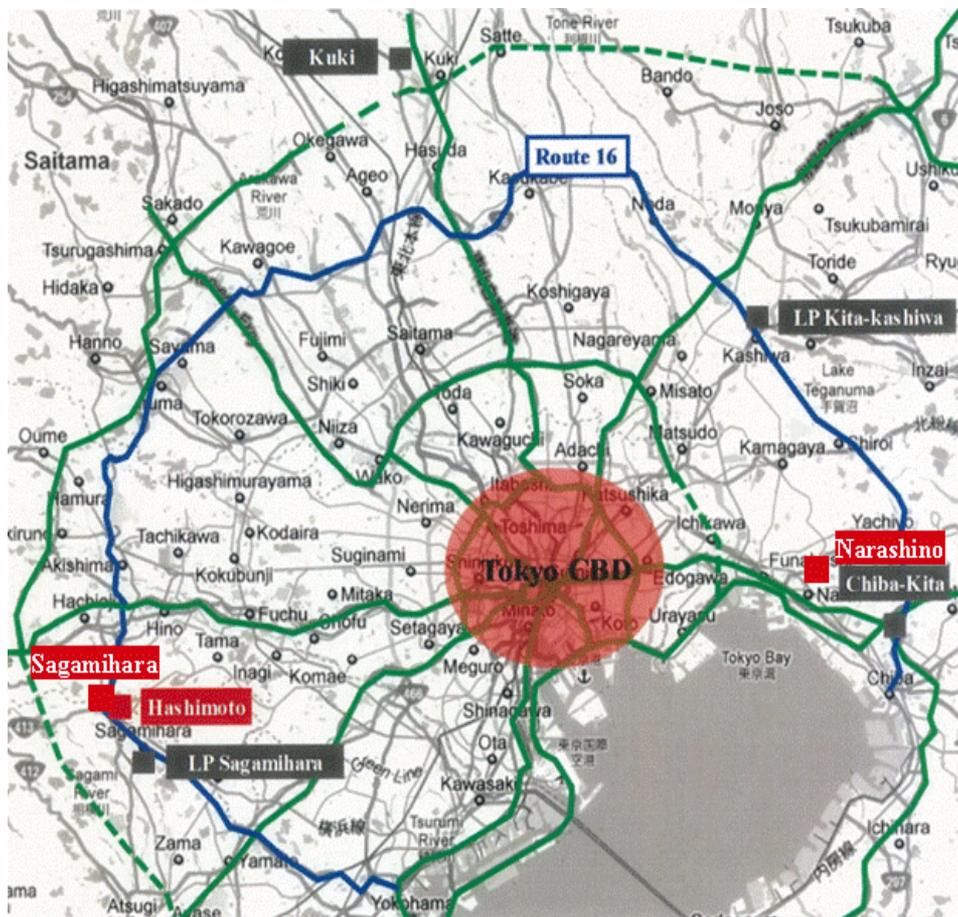


# 相模原ロジスティクスセンター(SLC)

- 延床面積: 44,103.64㎡  
(1F,3F-5F: 約10,465㎡ / 2F: 約840㎡ オフィスペース)
- 竣工: 2014年4月
- 立地: 高速道路および港湾に近接
- 建物高: 31m
- 天井有効高: 6 m (パレット4段積み可)
- 階数: 5階
- 環境: 強制換気 1時間あたり1回換気
- トラックバース: 32台分  
(ドックレベラー 8台、リーファーコンテナ対応が4箇所可能)
- エレベーター: 貨物エレベーター 4基、従業員用エレベーター 3基、  
垂直コンベヤー4台
- 事務所スペース: 1Fおよび2Fに設置、1Fは従業員休憩スペースを含む
- 従業員用施設: ロッカールーム、休憩室、レクリエーションルーム、E-スタディ ルーム
- 倉庫内オフィス: 建物中央部にトランスポートおよびオペレーション用オフィスを設置
- 事務用オフィス: 各階にお客様向けもしくはオペレーション用オフィスを設置
- セキュリティ: 施設入口に守衛所を設置、回転ドアと柵の設置、従業員と来訪者の入口を分離



# SLCの優位性



サービスとコストのベストバランスをご提供

✓ 湾岸エリアに比したコスト優位性



✓ 主要積載港・空港に近接

✓ 主要マーケットへのアクセス

- 都心・神奈川へのアクセス
- 国道16号線に近接し、  
埼玉県および名古屋市へのアクセス

✓ オペレーションの柔軟性

- DHL自社倉庫により、柔軟な業務設計や  
スペース拡張が可能

✓ 安全性

- 湾岸地区の立地でなく、  
強固な事業継続計画(BCP)の導入が可能

# お問い合わせはこちらへ

---

岡戸 隆昌

ビジネスディベロップメント  
シニアディレクター

DHLサプライチェーン株式会社  
〒140-0001 東京都品川区北品川4-7-35  
Mobile 090-6654-1806  
[takaaki.okado@dhl.com](mailto:takaaki.okado@dhl.com)

[www.dhl.co.jp](http://www.dhl.co.jp)